

No.228  
 常総市  
 2020.2.20  
 発行



令和2年 消防出初式

# 議会だより

11月定例会議号



**主な記事**

- 一般質問（11月定例会議）・・・・・・・・・・ P.2～11
- 11月定例会議審議案件と結果・・・・・・・・ P.12～13
- 常任委員会行政視察研修報告・・・・・・・・ P.13
- 議会だよりアンケートについて・・・・・・・・ P.14
- 2月定例会議予定・・・・・・・・・・ P.14
- 議長のひとこと・・・・・・・・・・ P.14



**議会だよりに関するアンケートを3月18日まで行っております。  
 ご協力をお願いいたします。**



QRコード

12/3～6の4日間にわたり19人の議員が一般質問を行い、市政全般について活発な議論が交わされました。ここでは、質問・答弁の要旨の一部を掲載しています。(質問事項を通告順に記載)。本文中の固有名詞は、質問議員の意向により掲載しております。

各議員の質問内容の詳細は、各議員のページのQRコードをスマートフォン等で読み取ること  
で、動画で見ることができます。

# 一般質問

## 11月定例会議

1	ひろせ こういち 広瀬 光一	●常総市における台風19号への対応及び防災対策について	3頁
2	くさま のりお 草間 典夫	●国体開催(ハンドボール競技)後の本市スポーツ振興について ○義務教育段階の公教育における学力格差問題の解消について	
3	いしつか つよし 石塚 剛	●防災体制の課題について ○がん教育の推進について	4頁
4	かぜの よしゆき 風野 芳之	●幼児教育・保育の無償化に伴う今後の対応について ○旧県道高崎 坂東線の進捗状況と予算について ○公共施設の見直しについて	
5	こばやし たけし 小林 剛	●台風19号への対応及び今後の課題について	5頁
6	なかむら ひろみ 中村 博美	●市内に設置されている歩車分離式信号の改善について	
7	よしはら はるのぶ 吉原 晴照	●市所有の休止状態にある施設及び空地の状況について ○産婦人科の新設について	6頁
8	やない しんご 柳井 真吾	○ひきこもり支援について ●スクールロイヤー制度の導入について ○子どものインフルエンザ予防接種費用の助成について	
9	おおさわ きよし 大澤 清	●吉野公園の運営について ○災害対策について	7頁
10	しげた しんぞう 茂田 信三	●道の駅について ○職員の残業(時間外勤務)について ○避難所について	
11	なかむら やすお 中村 安雄	●水海道有料道路の通勤時間帯の無料措置について ○地域の医療機関である、きぬ医師会病院の運営及び今後の課題について ○本年度収穫米のカメムシ被害への対策及び今後の農政について	8頁
12	ほりこし みちお 堀越 道男	○台風19号への対応及び避難所の設置について ●保育所問題について ○教育問題について	
13	えんどう ふみえ 遠藤 章江	○保健師採用と処遇改善について ○待機児童改善を目指し、市内で活動する保 育士の処遇改善について ●水海道駅前に設置されていた公衆トイレについて	9頁
14	さかの しげみ 坂野 茂実	●常総市の空家対策及び将来の人口増に向けた策について問う	
15	いじま ただし 飯島 忠	○耕作放棄地の現状及び有効活用について ●高齢運転者のための急発進制御 装置取付補助金について ○台風19号における障がい者の避難行動について	10頁
16	さとう たけし 佐藤 剛史	○行政職員の定数管理及び配置等について ●消防団について	
17	おかの かずお 岡野 一男	○選挙事務について問う ●災害時の避難所について問う	11頁
18	せき まさし 関 優嗣	●防災先進都市「常総」の今後について ○幼稚園、保育所、小・中学校の今後について	
19	きみやま あきら 喜見山 明	●会計年度任用職員制度について	12頁



## 台風19号への対応及び防災対策について



答弁

一定の評価はされたが、課題に対し改善を行っていききたい

議員

避難所の選定方法は。また、近隣自治体との避難所提携はしているのか。

市長公室長

発災直後の緊急的な避難先として、指定避難所の開設を考えている。

防災危機管理課長

昨年度末、鬼怒川・小貝川の沿線13市町村で広域避難の協定を締結し、提携が図られている。

議員

電柱に表示されている想定浸水深の標識やテープの目的は。

防災危機管理課長

水害の甚大な被害を後世に伝え、日頃より洪水への意識を高め、被害を最小限にとどめることを目的として表示している。

議員

豪雨災害から4年が経過し、目的は果たしたのではないかと不安を与える標識ではなく、避難所までの案内看板に変更をしたほうがいいのではないかと考える。

防災危機管理課長



## 国体開催後の本市スポーツ振興等について



答弁

3市が広域的に連携し、スポーツを活用した仕組みづくりを検討

議員

さらに、広域的に官民が連携し、スポーツを活用した仕組みづくりを検討している。単独自治体で完結することなく、相乗効果による広域的なまちづくりを意識して取り組んでいく。

議員

広く国民の間にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上を目指すという観点から、他の競技についてはどう考えるか。

スポーツ振興課長

幼児から高齢者を含めたすべての市民のニーズに合った教室でスポーツの楽しさに触れ、健康の維持、増進を図っていく。

議員

本市在住及び出身の国体代表選手（指導者を含む）への功労に対する市の考えはどうか。

教育委員会教育部長

本市としてはまだ実施していないが、代表選手等の功績を称えることを検討していく。

議員

人材育成、競技力向上という視点からも功績表彰等を確実にお願いしたい。

教育委員会教育部長

45年前から実施してきた国体記念常総市長杯争奪茨城県中学校ハンドボール大会を新たな大会に切り替え、常総、守谷、坂東の3市開催を検討している。

教育委員会教育部長

おもてなし、会場、応援等において、過去10年間で一番すばらしい国体であったというお褒めの言葉をいただいた。課題は、今後のスポーツ振興や健康増進に向けた体制づくりである。

議員

21世紀の国体を目指す「国体を通じたスポーツ文化の浸透」をスポーツとともにある社会の実現という観点から、この国体開催で得たものを今後の本市スポーツ振興等にどのように生かしていくのか、市の考える施策を問う。



広瀬 光一 議員

防災危機管理課長  
昨年度、6回線から12回線に増設したが、問い合わせが殺到したためつながりにくい状態になった。これを踏まえ再度対策を検討したい。なお、エリアメールは避難指示から活用した。

草間 典夫 議員

教育委員会教育部長  
45年前から実施してきた国体記念常総市長杯争奪茨城県中学校ハンドボール大会を新たな大会に切り替え、常総、守谷、坂東の3市開催を検討している。

用語解説

天皇陛下御即位記念 第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体2019」～翔べ 羽ばたけ そして未来へ～  
10月3日(木)～7日(月)：ハンドボール競技を守谷市、常総市、坂東市の3市合同で開催



台風19号に伴う防災体制の課題について問う

答弁

災害の種別に応じた適切な対応をしていく

ら施設が整った所に誘導をする。

議員

避難所にスポットクーラーを設置したブースを設け、応急処置を行う必要性はないか。

市長公室長

スポットクーラー等、レンタル会社と協定を締結しており、対処について協議を行っていく。

議員

ハザードマップに避難ルートの危険情報を追加してはどうか。

市長公室長

ハザードマップ進化系も含め危険箇所を地図に落とす取組をしている地域がある。地区防災計画支援事業報告会で事例等を説明し、反映につなげたい。

議員

条件を設け、各自治区に戸別受信機を支給してはどうか。

市長公室長

情報取得手段の多様化が求められており、継続検討する。

議員

一刻も早く課題を是正し、防災を強みとする街づくりをお願いする。

防災危機管理課長

避難所のエアコン設置、車いす利用者のトイレ等、環境対策を講じてほしいが市の考えは。

議員

バス会社との協定や各分野に幅広く協定の締結を進め対策を講じていきたい。

市長公室長

避難時の移動手段としてバスの手配等、避難サポートの必要性について市の考えを問う。

議員

対象者8928名中、避難者は160名であった。少なかった要因は、夜中の避難や多くの避難所が鬼怒川西地区にあり、避難をためらった可能性がある。

市長公室長

避難行動要支援者の避難行動について問う。

議員

小中学校は発災直後の緊急避難先と考え、長期に渡る場合、環境の整った施設へ誘導をしていく。車いす利用者は、最初か



幼児教育、保育の無償化に伴う今後の対応について

答弁

国の制度に準じて対応していく

従来、保育料の一部に含まれていた副食費・給食費等の実費分

はこれまで同様有料だが、年収360万円未満相当世帯及び第3子以降の児童は月額4千5百円を限度に免除となる。財源に

ついては、今年度分は臨時交付金として約6千万円を当市では見込んでいる。次年度以降は地

方消費税の増収分及び地方交付税に算入予定だが、算入額につ

いては未定である。今後の国の動向をみて対応を検討してい

きたい。また、私立幼稚園については、負担割合に応じて国や県

からの交付金が支給される予定である。なお、国と地方自治体

の代表等で構成される幼児教育、保育無償化に関する協議の場

において、地方公共団体の代表側から無償化の実施に係る経費を

明確かつ確実に財政措置されるよう提言がなされている。

少子化対策の一環として実施される制度であるが、サービスの低下にならないようお願いす

る。

議員

保健福祉部長

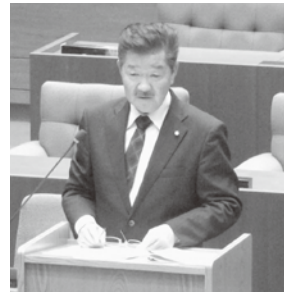
令和元年10月1日、消費税10%導入と共に幼児教育・保育の無償化が実施された。幼稚園・保育所共々3歳以上児と市区町村民税非課税世帯の3歳未満児が対象になることは、市民の大多数が理解していると思われるが、制度の詳細や内容を知りたい。また、予算に関して当市の財政負担はあるのか。今後の継続的財源についてどのように考えているのか、説明を求める。

4月1日現在3歳以上児と、市区町村民税非課税世帯の3歳未満児が無償化の対象になる。幼稚園は入園できる時期に合わせ、満3歳から無償化になる。

また、幼稚園等の預かり保育は月額1万1千3百円を、認可外保育施設を利用する非課税世帯の3歳未満児は月額4万2千円を、認可外保育施設を利用する3歳から5歳児は月額3万7千円をそれぞれ上限に補助する。

議員

少子化対策の一環として実施される制度であるが、サービスの低下にならないようお願いする。



## 国土交通省と交渉し

### 河川区域内の住民を救え

#### 答弁 継続して要望を行っていく

があるため、台風19号の被害に絡め、被災家屋の移転も視野に入れ国と協議していただきたい。

#### 議員

菅生調整池における溢流堤内の計画水量、上限水量及び浸水被害宅の位置関係について伺う。

#### 都市建設部長

国土交通省に確認をした結果、菅生調整池の治水容量は2700万立方メートルで、計画高水位はYP+13・3m。今回の調整池内水位は、YP+13・28mという状況であった。

#### 議員

ここは水が入る部分のため、河川区域という認識でよろしいか。

#### 都市建設部参事

基本的に河川区域になっている。

#### 議員

黄金地区の守谷側は河川区域内であり、昭和34年の台風被害を受け国に要望書を提出し、国の補償で移転した経緯がある。このとき、今回の台風19号による被災地区も一緒に要望をしたが、対象区域外と断られた過去

小林 剛 議員

#### 市長

直接管理をしている利根川上流河川事務所長と交渉したが、現在、補償制度がないということであった。浸水は事実であり、新たな規定の策定を要望するためにも、定期的に協議の場を設けていきたい。

#### 議員

大雨警報発令時の菅生沼の状況を見ると、防災の観点から浚渫が必要と考えるが市の考えは、

#### 市長公室長

市長会を通し、県に対し継続して浚渫の要望を行っている。

#### 議員

利根川の逆流を防ぐため、法師戸水門を閉めると東仁連川と飯沼川から菅生沼に流れ込んだ水の逃げ場がなくなり、道路が冠水し自宅に戻れなくなる市民がでてしまう。防災の面でも浚渫の必要性を強く県に要望していただきたい。



## 事故を招きかねない信号の改善を！

#### 答弁 警察や公安委員会へ申し入れをしていきたい

自転車に乗車したまま斜めに走行する交通違反者も多数目撃している。担当課職員は立哨を行つたか。

#### 生活環境課長

現場での立哨を行い、現状は把握している。

#### 議員

小・中学校及び高等学校の通路でもあり、通行を迷う歩行者専用現示方式信号はスクランブル式信号に変更すべきと考えが市の考えは。

#### 市長

小学校PTAからの要望が多い交差点であり、決定権を持つ公安委員会に調査依頼するなど、利便性と安全性の両面を担保できるように、警察や公安委員会へ申し入れをしていきたい。

#### 議員

地元から要望活動の声も出ており、住民が動くまでもなく検討をお願いしたい。交通安全協会及び交通安全母の会は現状を把握しており、改善に向けた要望を強くお願いする。

#### 議員

現場での交通立哨時、歩行者の約3割が斜め横断をしており、

#### 産業振興部長

歩行者専用現示方式信号を設置している交差点では、歩行者の道路交通法の認識不足等により、斜め横断を誘発する危険性がある。また、斜め横断が困難な歩行速度の遅い高齢者等は、渡りきれずに残存歩行者となる恐れがある。

#### 議員

中村 博美 議員



### 公有の休止施設及び 空き地の状況について

答弁

有効活用の検討及び整備を進めていく

17区画である。そのうち、売却可能な公有地は8区画ある。

議員

公有休止施設は、水海道地区、石下地区で各何箇所あるか伺う。

総務部長

一年以上休止中の施設は、水海道地区7か所、石下地区2か所である。

議員

休止施設9か所の中で、再利用や解体等の計画はあるのか。

総務部長

学校プールは雨水を貯水しグラウンドへの散水に利用し、旧報徳銀行は備品倉庫として、また民俗資料館及び青少年の家は歴史資料の収蔵庫として利用している。豊岡球場については令和2年度に再整備をする計画があるが、その他の施設は、現在具体的な計画はない。

議員

空き地となつている公有地は水海道地区、石下地区で各区画あるか伺う。

総務部長

水海道地区58区画、石下地区

### 空き地の状況について

議員

休止施設や空き地に対する、今後の計画を伺う。

資産管理課長

公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設等運用戦略会議を組織し、今年6月に会議の設置要綱を定め運用を開始し、これまで5件の検討を行った。今後は、目標達成に向け審議を進めていきたい。

議員

公共施設管理は重要事項であり、休止施設は現在管轄している部署から資産管理課で一元管理すべきと提案する。また、資産管理課は管理だけでなく運用も行うことで迅速化及び見える化を図られると考えるが市の考えを伺う。

市長

資産管理課で一元管理ができる配属をし、包括管理も進めている。管理だけでなく、有効活用できる経営手法も積極的に取り入れていきたい。



### スクールロイヤー制度の導入について

答弁

児童生徒、園児のための活用方法を検討していく

議員

市内小・中学校における問題発生時の現状及び問題発生時の教職員の相談体制について問う。

教育委員会教育長

問題発生時の現状については、いじめ問題、不登校、虐待事案等が挙げられている。それぞれの問題に対し、市教育委員会と各学校との情報共有や連携を図り対応している。事案により、児童相談所、福祉事務所、医療機関、警察、あるいは市の顧問弁護士にアドバイスを依頼し、各関係機関と連携体制をとっている。

議員

教育現場における専門家による支援の現状及び法的観点からの専門性の必要性について問う。

指導課長

本市では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置している。スクールカウンセラーに関しては、中学校を拠点に4人を配置している。

議員

スクールロイヤー制度について

児童生徒、園児も含め、時には学校の教職員、あるいは保護者の様々な問題に対し、法的にも適切に解決に向かう意味で、十分効果があるものと考え、活用を検討していく。

議員

スクールロイヤー制度についての所見を伺う。

教育委員会教育長

児童生徒、幼稚園児も含め、時には学校の教職員、あるいは保護者の様々な問題に対し、法的にも適切に解決に向かう意味で、十分効果があるものと考え、活用を検討していく。

## 来場者に喜ばれる吉野公園の再考を！



### 答弁

民間のノウハウを活用する方法を模索している

を有効活用できない状況が残念でならない。来年度の釣り大会開催について、どの様に考えているか。

### 商工観光課長

来年度の釣り大会に関しては現時点で想定はしていない。釣り大会は、日頃の感謝の気持ちを示し、釣れる吉野公園の宣伝を目的としている。今後は、半額サービスデーを設けたり、釣り大会ではなく、違う形で愛好家の皆様への還元を検討している。

### 議員

非常に残念である。釣り愛好家にとつては、釣り大会を目標として利用している方も多いため、再検討をお願いしたい。施設整備についても、有料で運営を行っているため、利用者に還元するのは当然のことと考える。今後さらに再考していただくよう強く要望する。



### 答弁

IC周辺事業で安定的な財源を確保する

リスクもないのだから応募が多いのは当たり前ではないのか。

### 副市長

道の駅は、隣接に民間の集客施設と観光農園をつくり連携し、賑わいを創出できる。この賑わいを商店等に波及させるとともに、農家所得の向上にも貢献したい。管理運営者の選定作業も遺漏がないよう努める。

### 議員

災害の多い今日、そのお金を大災害に備えて貯金をする必要がある。これ以上公共施設を増やしてどうするのか。右下総合体育館のメンテナンスも1億8千万円かかる。道の駅については、多数の議員が疑問を持ち、再度全員協議会で洗い直すことが決まった。地産地消を目的とした地場産物を売る販売所をつくるという話が議員の分からないうちに1人歩きしていった。市民も税収の上がらない時代にこのようなお金のかかることをすべきではないと、一票を投じた議員に言っているのではないのか。

### 産業振興部長

吉野公園では毎年春と秋、年2回釣り大会を開催していたが、今年の秋の大会は中止となった。その理由を伺う。

### 議員

長期的に計画しているわけではなく、現在、新たな建物や道路舗装等の計画はない。毎年度必要な改修・修繕を進めていく予定である。

### 産業振興部長

吉野公園は今年で開園50周年を迎え、施設の老朽化が目につくようになった。環境整備について、今後どのような整備計画があるのか伺う。

### 議員

主催していた釣り団体構成員の高齢化に伴い、体力的にも開催が厳しくなった。他団体等での開催も検討したが、困難であると判断し、今年度の秋季釣り大会については中止となった。

### 議員

ポテンシャルが高い吉野公園



大澤 清 議員

茂田 信三 議員



水海道有料道路

通勤時間帯無料化について

答弁

通勤時間帯の渋滞緩和に向けて無料化の再開を進める

水海道有料道路が本年度有料であることから、朝の通勤時間帯に交通渋滞が発生し通勤通学に多くの時間がかかっている。企業や利用者からは、以前のように通勤時間帯は通行無料にするよう声が届いているが、通勤時間帯を無料にする考えがあるか。

都市建設部長

水海道有料道路の時間帯無料措置については、平成31年3月末を持って一たん休止としている。休止後においては、豊水橋と美妻橋の上下線ともに交通量が増加し、通勤通学に利用する方々から事業再開を求める要望が多数寄せられている。今後、

企業側からの寄付行為により企業側で損金算入でき寄付金として扱える仕組みづくりを構築し、事業の協賛を得られるようにしていきたい。

議員

通勤時間帯の無料措置について

て、多くの企業から事業再開を求める要望が寄せられており実現に向け協議されているということ值得期待していきたい。無料措置により、企業等の社員が勤務し居住することで人口増も期待できる。安心した形で通勤通学ができるような体制づくりをお願いしたい。

市長

有料道路の時間帯無料化については、工業懇話会をはじめ市内の企業の方々に協力をいただきながら、様々な取組みについて、内守谷・坂手工業団地、大生郷工業団地にも説明に出向き対話を重ねている。

また、近隣の坂東市、つくば市の企業とも話を進め、市の財政の持ち出しが極力少なくできるように協力のお願いもしている。また小中学校のPTAからは、通学時の事故につながる心配する声もあり、子供たちの命を守るためにも通勤通学時間帯の渋滞緩和対策として無料化の再開に向け取り組んでいく。



保育所の財源問題について

答弁

建設に係る国・県からの補助金はなく、副食費も従来どおりご負担いただく

公立保育所建設の財源が不足しているというのは本当なのか。

保健福祉部長

公立保育所は必要であれば建設する考えであり、財政不足で建設しないわけではないが、現在直接的な国・県からの補助金はない。全体事業費の90%が起債対象となり、そのうち35%が普通交付税の基準財政需要額に算入されるが、基準財政収入額とはイコールでない。

議員

施設整備事業費の70%（実額35%）が基準財政需要額に見込まれるとのことだが、一般財源化とは自主性の主体的な考え方が求められると思う。

子ども・子育て会議資料に幼児教育の無償化により、1億円の歳出増加が見込まれるとの記載があったがどうか。

保健福祉部長

国からの歳入である臨時交付金の見込額が不明瞭であったた

建設に係る国・県からの補助金はなく、副食費も従来どおりご負担いただく。単純に歳出だけ1億円増加するという趣旨である。保育無償化に係る負担額についても基準的財政需要額に100%算入するということが、国からは具体的に示されていない。

議員

国が面倒をみると言っているので、自治体としては補助金を主張すべきではないか。

今年10月から幼児教育・保育の無償化により保育料が無料になったが、副食費が有料化されたことになった。保育料の国基準が高いため、今まで安く抑えていた分を市が負担していたが、無償化により財源が浮くことになるため、その浮いたお金で副食費を無料にできないか。

保健福祉部長

保育料の国基準から市基準を差し引いた額は約1千8百万円であり、副食費を免除する場合は約4千6百万円が必要と想定される。無償化以前は保育料に含まれており、今のところ無償化の予定はない。





**駅に降り立ち公衆トイレもない町…  
住みたいと思えますか**

**答弁**  
トイレ設置のための協議を  
していきたい

**議員**  
水海道駅前に設置されていた公衆トイレの取壊しに至るまでの経緯について説明を求めます。

**産業振興部長**

公衆トイレは平成29年当時、建設から約43年が経過し、老朽化が進んでおり、危険であると判断した。調査の結果利用者は多い日で107人であり、関東鉄道㈱と協議をした結果、トイレを解体しても影響はないとの結論に至り、同年に取壊しを決定し、翌30年9月に解体した。

**議員**

これから人口増加を目指すためには、都心から来てもらう必要があるが、駅前にトイレがないという都市は珍しい。当市の職員は、マイカー通勤者が多く、電車を利用せず通勤が可能かため、認識が不足しているのではないかと。都内に毎日通勤、通学する人にとっては駅のトイレは必要不可欠である。トイレの設置当時、関東鉄道㈱は無償で土

**遠藤 章江 議員**

地を提供し、電気代も負担してきた。再び関東鉄道㈱が承諾するかは分からないが、駅前にトイレは必要ではないか。市長の見解はいかがか。

**市長**

今後関東鉄道㈱と協議をしていきたい。

**議員**

浸水しない安全な場所に新たな住宅地を形成し、市内7つの駅と住宅地をしっかりと結ぶ公共交通網の整備を行い、都心から人を呼びこみ人口を増やすため、駅の重要性を考えた街づくりをすれば、まだまだ発展の余地があると思う。市民の広場には土日とイベントの時しか使用しないエアコン付のトイレがある。駅前のトイレは少ないとはいえ、1日100人以上の利用がある。豊田城のような、金のシャチホコをのせたインスタ映えする、話題性のあるトイレをぜひともつくっていただきたい。

**坂野 茂実 議員**



**空き家対策の取組と  
人口増の策について問う**

**答弁**  
民間企業の資金力と技術力の活用も視野に入れ取り組んでいく

**議員**  
空き家の現状と取組について伺う。

**都市建設部長**

現在236件の登録があり、うち2件が特定空き家である。平成30年に常総市空家等対策計画を策定し、発生抑制、解消、利活用等に取り組んでいる。

**議員**

空き家の利活用についての取組を伺う。

**都市建設部長**

常総市空家等バンク実施要項を制定し取り組んでいるが、登録数が少ない上、建物の老朽化により多額の改修費を要する等の問題がある。今後、市外居住の所有者への周知や、空き家の取得、修繕や賃貸借に係る費用の助成等を検討していく。

**議員**

「マイホーム借り上げ制度」とはどのようなものか。

**都市計画課長**

一般社団法人移住・住みかえ

支援機構が借上げて転貸し、1人目の入居者が決定後は空室が発生した場合でも、賃料を保証する制度。所有者に有利であり、今後は広く周知を進めていく。

**議員**

空き家対策と併せて人口増が望める計画や策はあるか。

**都市建設部長**

民間企業資金等を活用し、子育て世帯の人口を増やす対策等を早急に取り組んでいく。

**議員**

境町では市外からの若い世代の移住・定住に成功している。町が一戸建を建設し、20年で無償譲渡や安価な賃料で集合住宅に入居できる等の様々な施策を実施している。集合住宅は3階建3棟を建設し、55世帯が入居済みで満室。更に、現在2棟を建築中とのこと。当市には有効利用が可能な市有地があり、負担が少ない官民協同のPFI等の手法を用いて調査・研究を進め、10年、20年先を見据え、多くの方が当市に目を向けてくれる策を進めるべきと考えます。



### 高齢者のための急発進制御装置 取付補助金について問う



#### 答弁

導入については、近隣市町村と連携しながら検討していきたい。評価が確定後に県・近隣市町村と連携しながら検討する。

#### 議員

茨城県交通安全協会では高齢運転者のために急発進制御装置取付補助金を交付している。満70歳以上を対象に会員は一万円、非会員は二千元の補助を受けられるが、当市の利用状況について伺う。

#### 産業振興部長

令和元年9月1日より事業を開始しているが、茨城県交通安全協会に問い合わせたところ11月末現在で申請者はいない。

#### 議員

高齢者の大半は年金暮らしであり一百万円の補助では取付ができない。ほかの自治体では独自で補助金制度を設けているところもあることから、当市でも導入の検討をしていただけないか。

#### 産業振興部長

市では、高齢者に対し運転免許証の自主返納を推進しており、返納者には2万円分のふれあい利用券を交付している。急発進装置については、国による性能



### 消防団に対するフォロ体制の構築を



#### 答弁

条件を精査し早急に進めたい

#### 議員

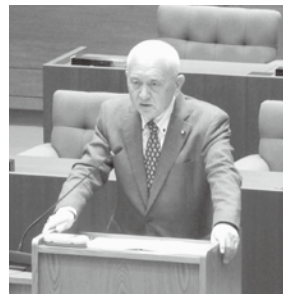
消防団員に対する、まちぐるみでのフォロ体制の構築が望まれる。消防団応援の店制度は、日々地域のために頑張る消防団員に対し、家族を含めた割引等のサービスを提供していただくものである。新入団員獲得という目的のためにも応援の店制度を進めていただきたいが、当市の考えは。

#### 防災危機管理課長

現在、消防団を応援していただけの事業所等の協力を得て制度を検討している。この制度は福祉の向上だけでなく、地域に広く団の存在を周知する機会にもなり、その結果団員の確保にもつながると考える。消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律にもあるとおり地域住民、企業、商店等の多様な主体のバックアップをいただき進めていきたい。

#### 議員

この取組に関しては行政の持



## 災害時避難所となる小中学校体育館の トイレを洋式化にすべき

答弁

大規模な改修工事の際に  
整備したい

抜本的な改善は今後の大規模改修工事等の機会をとらえて整備していきたい。

議員

災害はいつ起こるかわからない。マイマップ、マイタイムラインをつくれといっても、受け入れ先である避難所が不十分ではいけない。避難所としての公共施設のトイレはすべて洋式化することを明言していただきたい。

市長

今後の予算編成のあり方の重要事項、優先事項の中で関わってくるため明言はできないが、市民の声を重く受け止め、予算査定を進めていきたい。

議員

防災先進都市を目指す上で、避難所を整備していくことは急務である。新年度予算は防災に向けて取り組むという姿勢を貫いていただきたい。

教育部長

今回避難された方から、トイレの不便さについて苦情が寄せられた。避難所のトイレは洋式トイレがベストと考える。和式トイレから洋式トイレに全面的に改修する考えはあるか。

学校の体育館に避難した方からトイレ環境の悪さを指摘する声が出ているのも事実であり、

岡野 一男 議員



## 関東・東北豪雨災害による 経験は生かされたのか？

答弁

一部ではあるが生かされた!!  
していきたい。

議員

10月12日22時22分大雨特別警報に伴う避難の呼びかけがあり、その12分後に内容を訂正するかのような放送があったが、情報が錯そうした理由を伺う。

市長

特別警報が発令されたため、避難勧告がJアラートにより広域的に自動発信された。当市においては暴風域のピークの時間帯と重なったこともあり、今は避難すべきではないと判断し、防災行政無線により自ら垂直避難指示をした。Jアラート発信において、情報の錯そうにより市民を迷わせることのないよう、国土交通省・気象庁へ改善の申し入れを行った。

議員

行政がどんなに素晴らしい体制を整えようが地域がバラバラでは、十分な支援効果は望めない。災害時の基本は自助、共助その上での公助と考える。地域連携の重要性を強く訴えていきたい。

市長公室長

過去の経験、反省が生かされなかつた点はあるのか。

議員

タイムラインに基づいて対策を講じたことが大きな点である。その他、特別警報発令前に災害対策本部を迅速に設置した点や、消防団の全地域への拡声器による声かけ、避難勧告以降はサイレンを鳴らした後情報伝達を行ったこと、さらに市長自ら防災行政無線で避難指示を行ったこと等がある。

議員

台風19号への対応に、過去の経験や反省は生かされたのか伺う。

市長公室長

関 優嗣 議員

避難所の受入れについて、市民に対する協力依頼ができなかつた点は真摯に受け止めている。自助、共助の強化の観点から避難所の開設運営や、当市が始めた全国初の試みであるマイタイムラインの重要性を丁寧に説明



会計年度任用職員制度について



答弁

円滑な制度の導入に向け関係条例等の制定改廃の手続きを進める給与及び報酬の決定方法を尋ねる。

議員

会計年度任用職員制度について、8月定例会議でも質問したが、その後の進捗状況を問う。

総務部長

今定例会議に会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例と関係条例の整備に関する条例を上程し、円滑に制度が導入できるよう、関係規則の制定改廃の手続きを進めている。

議員

今まで臨時職員として勤務していた人にとっては待遇改善になるようだが、制度改正による市のメリットは何か。

総務部長

この改正により、臨時職員、非常勤職員が会計年度任用職員に移行することは、守秘義務の徹底、人事評価なども実施することになり、住民の命と暮らし、権利を守る自治体組織の強化が図られると考えている。

議員

制度導入にあたり、採用時の

総務部長

職種ごとに常勤職員が使用している行政職給料表をもとに勤務形態に応じて月額、日額、時間額を算定する。また、近隣市の状況を参考にし、担当部局とも十分に協議した上で、報酬及び費用弁償の額を設定したい。

議員

再度任用についての選考方法は。また、任用回数、年数制限、定年制及び年齢制限は設けるか。

総務部長

平等取り扱いの原則、成績主義を踏まえ、任期ごとに人事評価や所属長のヒアリングを行い客観的な能力実証を行い任用する予定。均等な機会の付与の考え方を踏まえた適正な募集をすべきものと考えているため、定年年齢制限を設ける予定はない。

議員

改正法が実施される令和2年4月に向け、円滑に制度が導入できるように進めていただきたい。

令和元年 11月定例会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、■色付き部分は賛否が分かれた案件で次頁に掲載しております。

議案番号	議案名	審議結果
議案第41号	財産の取得について	可決
議案第42号	常総市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第43号	常総市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第44号	常総市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例について	可決
議案第45号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	可決
議案第46号	常総市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第47号	指定管理者の指定について（常総市児童クラブ）	可決
議案第48号	常総市予防接種健康被害調査委員会条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第49号	工事請負契約の締結について	可決
議案第50号	指定管理者の指定について（常総市社会体育施設）	可決
議案第51号	市道の路線の廃止について	可決
議案第52号	常総市下水道事業の設置等に関する条例について	可決
議案第53号	令和元年度常総市一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第54号	令和元年度常総市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第55号	令和元年度常総市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第56号	令和元年度常総市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第57号	令和元年度常総市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第58号	令和元年度常総市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
請願第1号	固定資産評価証明書付記及び証明印の無料化に関する請願書	趣旨採択
選挙第8号	常総市選挙管理委員会委員の選挙について（小林一夫氏、原田好子氏、五月女安彦氏、荻部義男氏）	当選
選挙第9号	常総市選挙管理委員会補充員の選挙について（松崎和江氏、中川平氏、田仲安夫氏、海老原和子氏）	当選

※趣旨採択・・・願意は妥当であるが、実現性の面で確信がもてず、不採択とすることもできない場合の決定方法  
 ≪会議の欠席等の状況≫ 11/20 議会運営委員会 大澤 清 (欠席) 11/27 本会議 水野 昇 (欠席)  
 11/27 議員全員協議会 水野 昇 (遅参) 12/4 本会議 水野 昇 (遅参)  
 12/10 常任委員会 茂田信三 (遅参)

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。

★議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。

★会派とは3名以上の議員で構成される団体を会派として認めています。

○：賛成 ×：反対

議案番号	常総の志			未来			令明会			令政会			会派所属無し											
	関優嗣	坂巻文夫	倉持守	飯島忠	坂野茂実	小林剛	中村安雄	佐藤剛史	広瀬光一	草間典夫	吉原晴照	柳井真吾	石塚剛	大澤清	遠藤章江	中村博美	岡野一男	茂田信三	喜見山明	風野芳之	水野昇	堀越道男		
議案第44号	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第45号	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第52号	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
請願第1号	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

※議長は採決に加わらない

常任委員会 行政視察報告

総務委員会

10月23日～24日

神奈川県川崎市国際交流協会

国際交流促進事業及び外国人相談事業への取組について



静岡県菊川市

多文化共生事業について



を感じた。地域の活性化につながるよう、提案をしていきたい。

多文化共生推進行動指針を策定している先進市を視察し、多面的・多角的な視点から取組をしていく必要性を感じる。

建設経済委員会

10月28日～30日

北海道苫小牧市

まちなか再生総合プロジェクトについて



北海道石狩市 道の駅「あいろーど厚田」について



当市の課題である中心部のシッター商店街と道の駅について調査研究を行った。今後の施策に対して、より良い提案ができるように委員一同取り組んでいきたい。

議会運営委員会

11月5日～6日

福島県喜多方市

議会改革の取組について



様々な議会改革を行っている先進市を視察した。議会機能の強化・住民視点で分かりやすい議会運営を目指し、さらなる開かれた議会に向け取組を行う必要があると実感した。



本庁舎



石下庁舎

議会だよりのアンケート調査を本庁舎・石下庁舎で行いました！  
 1月20日(月)に議会だよりのリニューアルに向けたアンケートを議会広報委員で行いました。多くの市民の皆様から貴重なご意見をいただきました。誠にありがとうございます。常総市ホームページ上では、3月18日(水)までアンケート調査を実施しております。表紙にQRコードを掲載しておりますのでご協力をお願いいたします。

### 議会の様子を見てみよう！



常総市ホームページ、または左記QRコードからご覧になれます

常総市議会 中継

検索



【アクセス方法】  
 市ホームページ  
 ↓  
 常総市議会  
 ↓  
 議会映像配信

11月定例会議  
 傍聴者数  
 本会議開催日  
 (11/27,12/3~12/6,12/13)  
 合計 139人

### 議長のひとこと

11月定例会議では議員19名から一般質問があり、その中には台風災害に関する意見が多くありました。今後も災害対策を含めた活発な議論を交わし、市民と行政のかけ橋としての役割と責任をもって、市民の皆様が安全安心に暮らせるまちづくりに努めてまいります。

常総市議会議長 倉持 守



### 2月定例会議日程(予定)

- 2月26日(水) 第22回会議 (本会議)
- 3月3日(火) 第23回会議 (本会議：一般質問)
- 3月4日(水) 第24回会議 (本会議：一般質問)
- 3月5日(木) 第25回会議 (本会議：一般質問)
- 3月6日(金) 第26回会議 (本会議：一般質問)
- 3月9日(月) 予算特別委員会
- 3月10日(火) 予算特別委員会
- 3月11日(水) 予算特別委員会
- 3月12日(木) 常任委員会 (分科会)
- 3月13日(金) 常任委員会 (分科会)
- 3月16日(月) 常任委員会 (分科会)
- 3月18日(水) 予算特別委員会  
 第27回会議 (本会議)

※正式な日程は常総市議会ホームページをご覧ください。

### 編集後記

議会広報委員になり、早10か月が経ちました。議員として市民の皆様から様々な意見を聞き、また地域の課題を共有し、改善・解決に向け尽力しているところです。が、まだまだ議員の仕事が分かりにくいと言われているのが現状です。「議会だより」を分かりやすく、より多くの方に読んでもらうために、広報委員一丸となって「議会だより」のリニューアルに向けた検討をしています。幅広く市民の声を取り入れるためにアンケート調査を実施し、多くの回答をいただきました。アンケートにご協力をいただきました皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。これからも「読みやすい、親しみやすい、分かりやすい」議会だよりを目指し、取り組んでまいりますので、ご期待ください。

広瀬 光一

#### 議会広報委員会

- ・委員長 岡野一男
- ・副委員長 佐藤剛史
- ・委員 広瀬光一
- ・委員 石塚 剛
- ・委員 大澤 清
- ・委員 遠藤章江
- ・委員 吉原晴照
- ・委員 草間典夫